

認知言語学： 言語普遍性と言語固有性 5

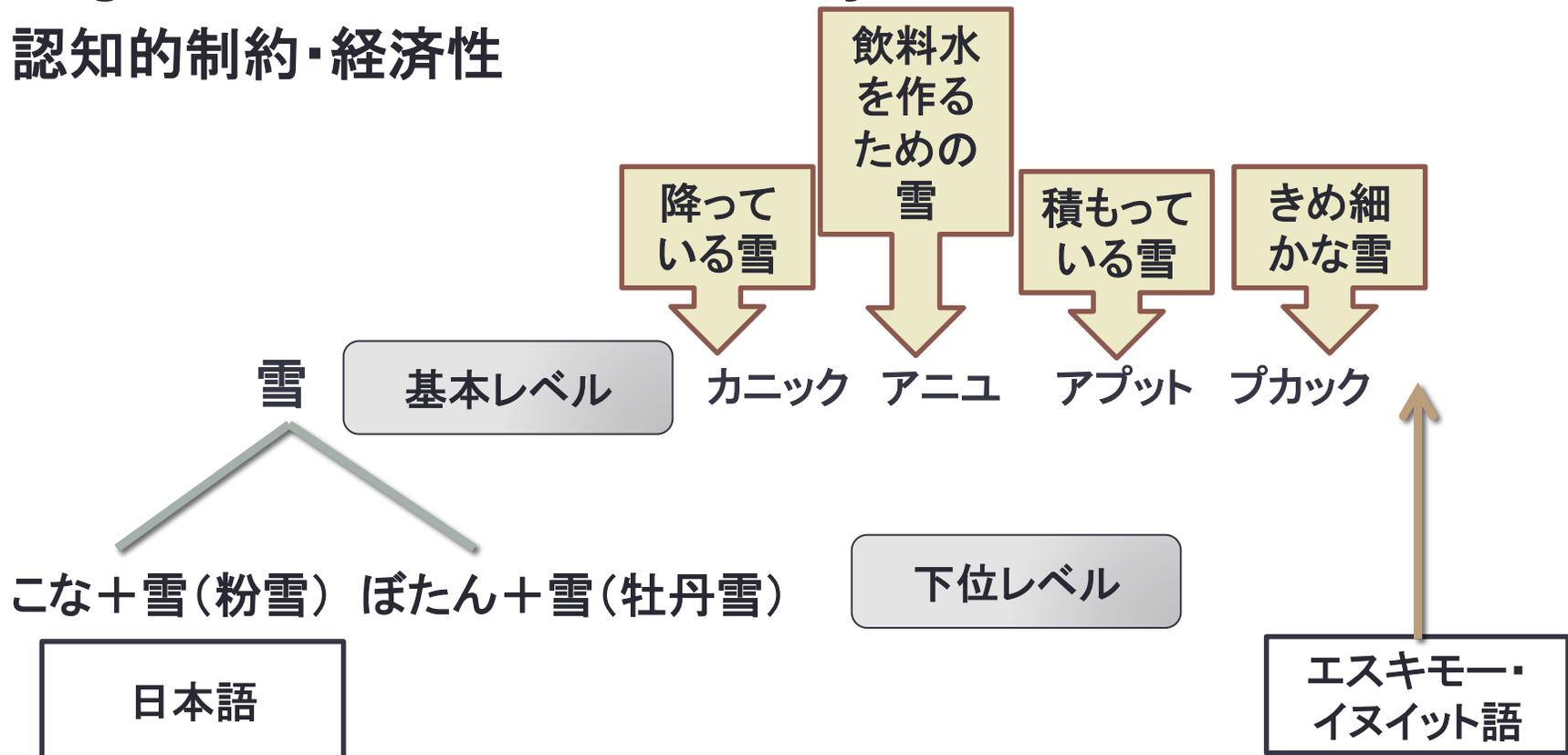
サンフランシスコ州立大学／国立国語研究所
南雅彦

認知の普遍性

- 階層分類

Cognitive constraints/economy

認知的制約・経済性



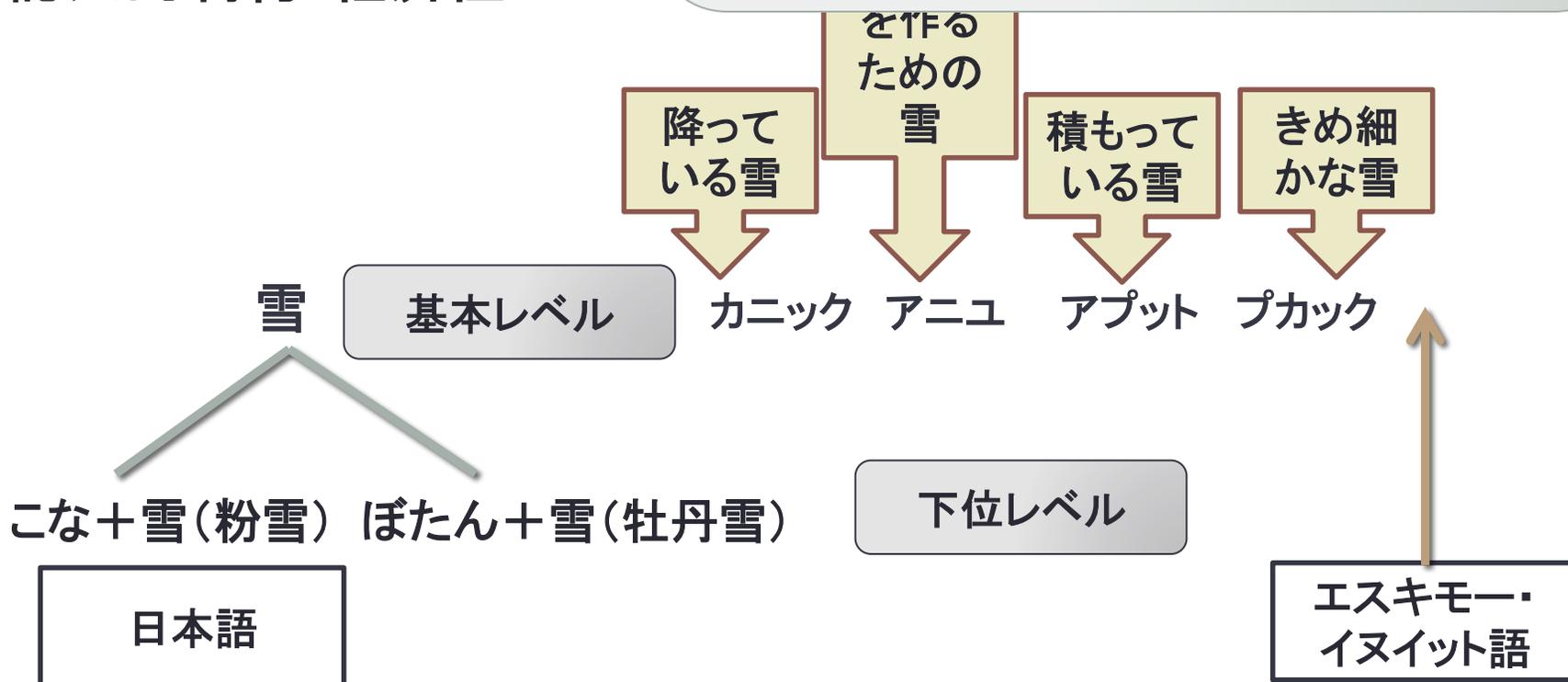
認知の普遍性

・階層分類

Cognitive constraints/e

認知的制約・経済性

- ・ 日本語では下位の従属レベルに分類されている雪の種類が、エスキモー語・イヌイト語では縦に上昇し基本レベルになっている。
- ・ エスキモー語・イヌイト語以外の別の言葉ではより下位の従属レベルであるこうした詳細な分類が、エスキモーにとっては基本レベルである。



認知の普遍性

- 桃太郎(おとぎ話)
- 桃太郎は鬼ヶ島の鬼が人々を苦しめていることを理由に鬼退治に旅立ちました。
- 道中、イヌ、サル、キジに遭遇しました。
- 出征時に両親から餞別にもらったきびだんごをイヌ、サル、キジに分け与えて家来にしました。
- イヌ、サル、キジを従えて、鬼ヶ島まで鬼を退治しに行きました。
- 鬼ヶ島での鬼との戦いで勝利をおさめ、鬼が方々から奪っていった財宝を持って帰りました。
- それから、郷里の両親(お爺さん・お婆さん)の元に帰って幸せに暮らしました。

認識

「桃太郎がイヌ、サル、キジに訴えられています。『せめて我々に名前を付けて』『イヌと呼ばれアイデンティティを傷つけられた』『何で、オレだけトリじゃなくて、キジなんだ』などの訴えです。当の桃太郎は『鬼と戦うほうが楽だ』とコメントしています。」

- 杉 (浅越ゴエ 『たかじんのそこまで言って委員会』 2011年10月2日)
- 杉 退 イヌとサルは基本レベルだが、キジは下位レベル。
このおとぎ話は、カテゴリー化・情報の抽象度(レベル)に問題あり。
- 道中、イヌ、サル、キジに遭遇しました。
- 出征時に両親から餞別にもらったきびだんごをイヌ、サル、キジに分け与えて家来にしました。
- イヌ、サル、キジを従えて、鬼ヶ島まで鬼を退治しに行きました。
- 鬼ヶ島での鬼との戦いで勝利をおさめ、鬼が方々から奪っていった財宝を持って帰りました。
- それから、郷里の両親(お爺さん・お婆さん)の元に帰って幸せに暮らしました。

認知の普遍性

・ 認知普遍性(色彩)

白

黒

赤

緑

黄色

青

茶

紫

桃色

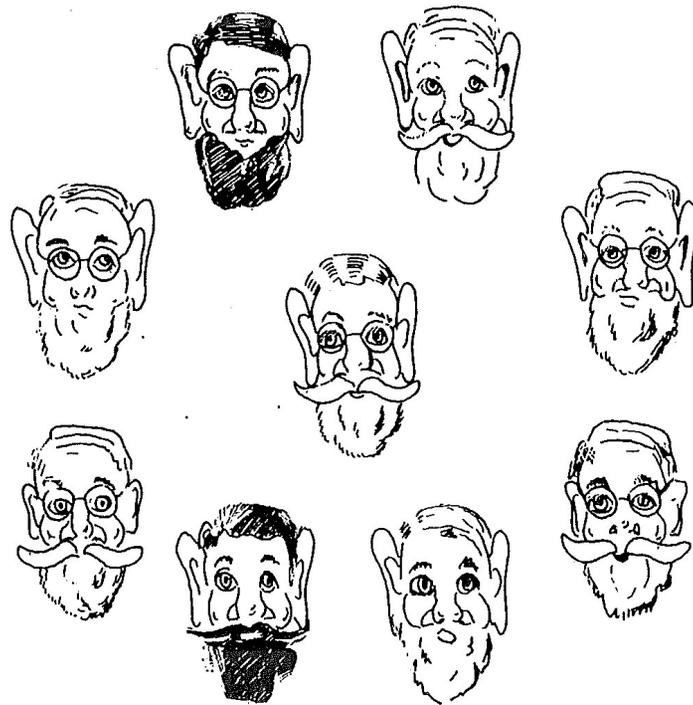
オレンジ

灰色

- ・ いかなる言語においても、限られた数の基本色を表す用語がある (Berlin & Kay, 1969)。
- ・ 言語における根本的相違にもかかわらず、異なる文化に属する人々もまったく同じように色を知覚する。

認知の普遍性

- プロトタイプ理論
 - 家族的類似性: Family resemblance [German Familienähnlichkeit] a philosophical idea made popular by Ludwig Wittgenstein



認知の普遍性

- プロトタイプ理論
 - 家族的類似性: Family [Familienähnlichkeit] Ludwig Wittgenstein

あるカテゴリーの成員(メンバー)であるかどうかは、カテゴリーの典型的なメンバー(プロトタイプ)を中心に、その類似性によって徐々に周辺的なメンバーへと拡張される。

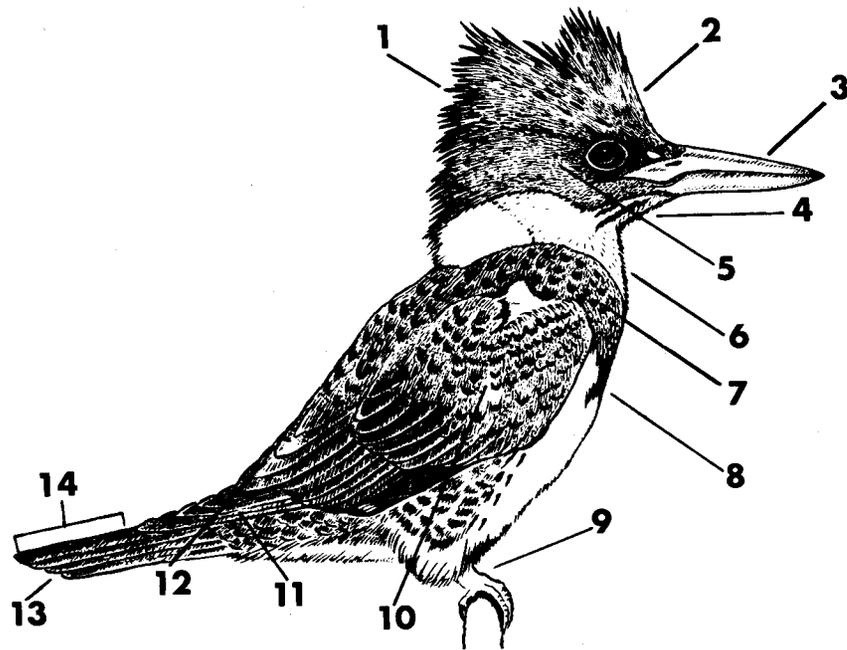
あごひげ 口ひげ
眼鏡 耳

属性(attributes)

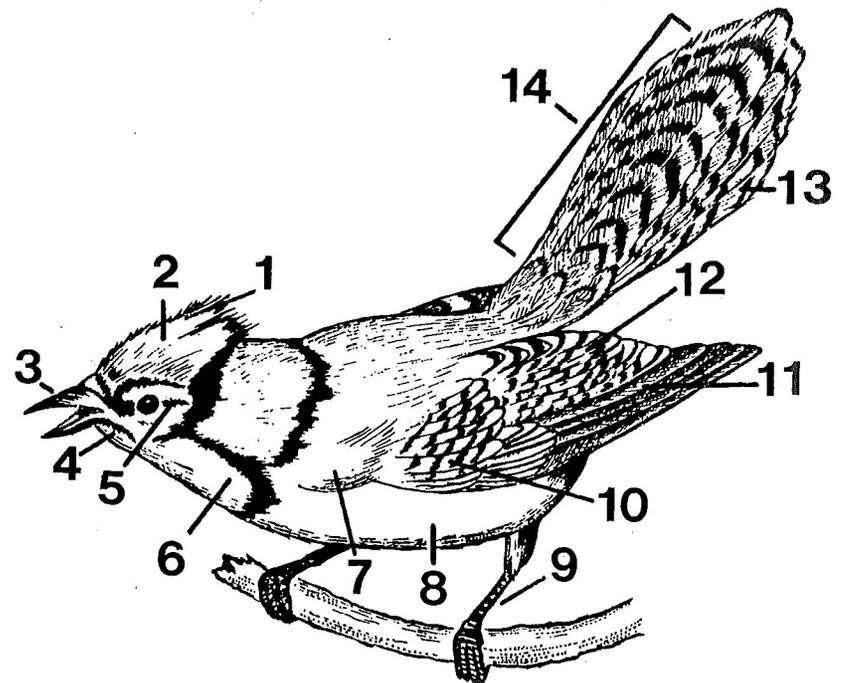


認知の普遍性

- プロトタイプ理論
 - 鳥らしい鳥 (Webster's Dictionary)



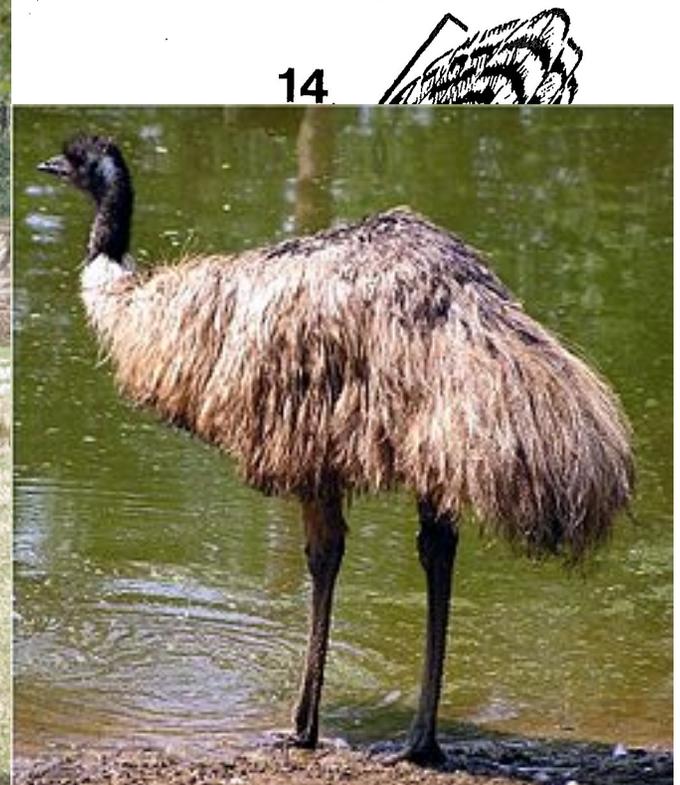
bird 2 (kingfisher): 1 crest, 2 crown, 3 bill, 4 throat, 5 auricular region, 6 breast, 7 scapulars, 8 abdomen, 9 tarsus, 10 upper wing coverts, 11 primaries, 12 secondaries, 13 rectrix, 14 tail



bird 2 (blue jay): 1 crest, 2 crown, 3 bill, 4 throat, 5 auricular region, 6 breast, 7 scapulars, 8 abdomen, 9 tarsus, 10 upper wing coverts, 11 primaries, 12 secondaries, 13 rectrix, 14 tail

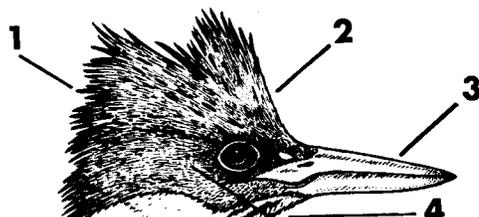
認知の普遍性

- プロトタイプ理論
 - 鳥らしい鳥 (Webster's Dictionary)



認知の普遍性

- プロトタイプ理論
 - 鳥らしい鳥 (Webster's Dictionary)



焦点色
真っ白 真っ黒
真っ青 focal blue
真っ赤 focal red
真っ茶？

- プロトタイプ言語学・認知心理学上の概念で、人間が実際に持っているカテゴリーは、典型事例とそれとの類似性によって特徴づけられるという考え方。典型事例とその類似性によって特徴づけられるカテゴリーをプロトタイプのカテゴリーと呼ぶ。
- たとえば、「鳥」という語から想起されるのはカワセミ(キングフィッシャー)やアオカケス(ブルージェイ)などの空を飛ぶ小動物であり、ダチョウやペンギンやエミュなどは典型的な鳥からは外れている。

認知の普遍性

リンゴがよりプロトタイプの
的であり、イチジクは
プロトタイプ性が低い

あらゆるカテゴリーのプロトタイプに
普遍性が見出されるというわけではない

果物	野菜	女性の役割
オレンジ	セロリ	母親
レモン	タマネギ	ウエイトレス
ブドウ	ピクルス	婦人警官
リンゴ	コメ	看護師
パイナップル	ダイコン	幼稚園の先生
イチゴ	ホウレンソウ	小学校の先生
イチジク	トマト	保健室の先生
オリーブ	ナス	フライトアテンダント